

大学院博士前期課程	ディプロマポリシー	<ul style="list-style-type: none"> 電気電子工学に関する基礎的理論と総合的な専門知識、さらに応用技術まで幅広く理解し、広い視点と論理性に基づいて、先端技術動向やニーズを踏まえた総合的な判断力によって研究の実践、課題解決ができる。 電気電子工学に関する専門的知識を有し、技術的課題解決のため、他者との協働、外国語を含めたコミュニケーションやプレゼンテーションができる。 										101 単位	
	相当単位数合計	13 単位	20 単位	16 単位	10 単位	12 単位	6 単位	8 単位	8 単位	8 単位	101 単位		
M2 M1	前期・後期	<ul style="list-style-type: none"> 必修科目 不問科目 										101 単位	
	分野	共通横断	学際科目	専門横断	光・エレクトロニクス	情報・通信	エネルギー・機器	制御・システム	材料・機械工学	熱・流体	設計・製作		年間履修上限単位数なし
カリキュラムポリシー	<ul style="list-style-type: none"> 「専門」に「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」を置き、学生課程教育で培ったエンジニアとしての能力をさらに高度化する。また、高度な基礎理論から最新の応用技術にわたる幅広い専門知識と先端技術のみならず、最新の専門的理論や最先端の応用技術を体系的に修得する。同時に国内外の関連する文献を調査・要約・整理してまとめた内容を的確に伝達する能力を養成するとともに、国内外での研究発表を通じて、自身の考えや研究成果を的確に伝達して議論できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。 「専門横断」では、研究分野の専門知識、技能を深めるとともに、他の工学分野と共通する工学知識や技術を修得する。 「共通横断」では数理分野、語学から社会倫理におよぶ幅広い知識を修得することにより、ユニバーサルな観点にわたる確かなもの見方と考え方を確立する。 												
アドミッションポリシー	<p>「エレクトロニクス・情報分野」「電機・制御分野」において、高度な専門知識やスキルを駆使し、また、機械工学の知識を加味することで、社会・産業界が求める最新の技術開発ができる高度な技術者を養成する。また、社会貢献するという強い意志と自身の考えに基づいて解決能力を持って、それを実現するために努力を惜しむことなく邁進できる学生を求めている。</p> <p>〈求める人物像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」の基礎と応用技術を修得し、新しい技術開発に携わり、積極的に社会貢献したいと考えている人 自然環境との共生を伴った社会の発展のために、自ら努力して成長していく意欲のある人 人間的な成長および自己実現をめざす向上心をもち、共同作業の重要性を認識し実行できる人 												
ディプロマポリシー	<p>4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。</p> <p>＜工学部＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生進にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔関心・意欲〕(主体的に生進学習を継続する意欲と関心) 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔知識・理解・技能〕(技術者に求められる文・理・情報系の素養) 専門分野の知識・技能を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に活用できる。〔理解・応用・技能〕(専門分野の知識・技能〔詳細は学科別]) 技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔協働・表現〕(相互に理解し議論するコミュニケーション能力) 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔意欲・協働〕(他者との協働による課題解決) 地球規模の視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命感や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔理解・応用・倫理〕(社会に対し能動的に貢献する行動力) <p>◆注：(3)を明確化したものが、各学科のDPとなる</p> <p>＜電気電子システム工学科＞</p> <p>電気電子システム工学科では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 社会で必要とされるエンジニアとしての基礎力である数学・自然科学の基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟しそれらを活用することができる。〔基礎学力〕(基礎学力) 電気電子システム工学の基礎知識を活かし、技術的な課題を抽出し解決に導くことができる。〔知識・理解・論理的思考力〕(知識・理解・論理的思考力) 合理的な思考に基づき自分の意見を明確に発表でき、他者との討論を通じて互いの意見を理解しながらチームで課題解決の作業をすすめることができる。〔コミュニケーション能力〕(コミュニケーション能力) 持続可能な社会を実現するために、未知の課題に対応できるよう、幅広い学修経験に基づいて自主継続的に学習することができる。〔継続学修〕(継続学修) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負う使命と倫理的責任に基づいて行動することができる。〔技術者倫理〕(技術者倫理) <p>◆注：【】はディプロマ・サブメントシステムにおける学部および学科のディプロマ・ポリシー達成度項目を明示</p>												
分野別到達目標	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野に立って、人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔知識・理解・技能〕(技術者に求められる文・理・情報系の素養)	工学の観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力として、数学や自然科学の基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟しそれらを活用することができる。〔基礎学力〕(基礎学力)	数学や自然科学の基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟しそれらを活用することができる。〔基礎学力〕(基礎学力)	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野に立って、人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔知識・理解・技能〕(技術者に求められる文・理・情報系の素養)	問題の提起、解決法の探求、実験的検証に至るまでの方法論を提案でき、それを新たな技術の開発へと展開できる能力を身につけている。	確定理を用いて電気回路の回路計算ができる。アナログ回路からデジタル回路に至るまでの各種電子回路の計算ができる能力を身につけている。	電子・光デバイスの動作原理や理論を理解し、これを応用した特性の計測などに活用する能力を身につけている。	電気機器の構造や動作原理を理解し、発熱・送配電ならびにエネルギー変換の幅広い分野において電気を活用できる能力を身につけている。	ソフトウェア・ハードウェアの基礎を理解でき、計算機システムや通信システムの専門基礎のほか、制御工学を組み合わせ多面的に活用できる力を身につけている。	卒業に必要な単位数124単位			
相当単位数合計	-	-	-	-	22 単位	11 単位	16 単位	14 単位	18 単位	20 単位	101 単位		
通年	哲学(2) 倫理学(2) 美術史(2) 文学(2) 日本語の歴史(2) 法學(日本憲法論)(2) 経済学(2) 歴史学(2) 心理学(2) 日本の伝統と文化(2) 国際関係論(2) 日本の文化と社会Ⅰ(2) 日本の文化と社会Ⅱ(2) オーストラリア・ニュージーランドⅠa(1) オーストラリア・ニュージーランドⅠb(1) 工学コミュニケーション英語基礎a(1) 工学コミュニケーション英語基礎b(1) キャリア・イングリッシュⅠa(1) キャリア・イングリッシュⅠb(1) キャリア・イングリッシュⅡa(1) キャリア・イングリッシュⅡb(1) 英語プレゼンテーションb(1) 中国語コミュニケーションⅠ(1) 中国語と現代中国事情Ⅰ(1) 生産スポーツⅠ・Ⅱ(各3)	微分方程式Ⅰ(2) 微分方程式Ⅱ(2) 物理学c(2) 物理学d(2) 知的財産法概論(2) 確率と統計Ⅰ(2) 確率と統計Ⅱ(2) 宇宙・地球・生命—探究演習(1)	級数とフーリエ解析(2) ベクトル解析(2) 線形代数Ⅲ(2) 線形代数Ⅳ(2) 複素解析Ⅰ(2) 複素解析Ⅱ(2) 応用数学Ⅰ(2) 応用数学Ⅱ(2) 実用化学Ⅱ(2) 地球システムと人間(2) 環境生物学(2) 人間発達と人権(2) 教育原論(2)	インターンシップ(2)	卒業研究	電機設計/CAD製図 2	工学研究基礎 2 技術者倫理 2 電磁界理論 2 電気電子システム総論 2	電気電子システム実験c 3 電気電子システム実験b 3	電機設計/CAD製図 2	電気応用 2 電気システムⅡ 2 電力システムⅠ 2 エネルギー変換工学 2 電気法規および施設管理 2 パワーエレクトロニクス 2 電機システムⅡ 2 高電圧・パルスパワー工学 2	ロボット工学 2 アンテナ・伝送工学 2 電波・通信法規 2	制御工学Ⅱ 2 情報通信工学 2 ネットワーク工学 2 計算機ソフトウェア 2 計算機ハードウェア 2 システム工学 2	18 単位 46 単位 27 単位 10 単位
前期・後期	世界と人間(2) 文章表現基礎(2) ペーパー・イングリッシュⅠ(1) ペーパー・イングリッシュⅡ(1) オーストラリア・ニュージーランドⅠa(1) オーストラリア・ニュージーランドⅠb(1) 海外語学研修(2) 日本語Ⅰ(2) 日本語Ⅱ(2) 健康体育Ⅰ(1) 健康体育Ⅱ(1)	解析学Ⅰ演習(1) 解析学Ⅱ(2) 解析学Ⅲ演習(1) 解析学Ⅲ(2) 解析学Ⅳ演習(1) 線形代数Ⅰ・Ⅱ(各2) 物理学実験c(2) 物理学実験d(2) 化学(2) 地球科学(2) 生物学(2) 基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ(各3) 深川学(1) 開発プロセス基礎演習(1)	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野に立って、人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔知識・理解・技能〕(技術者に求められる文・理・情報系の素養)	前期・後期	先端研究概論 2 基礎電気計測 2 電磁気学Ⅲ 2 電磁気学Ⅱ 2 電気数学 2 電磁気学Ⅰ 2	計算機プログラミング 2 電気電子システム実験a 3	電子回路工学Ⅱ 2 電子回路Ⅳ 2 デジタル電子回路 2 電子回路工学Ⅰ 2 電気回路Ⅲ 2	アナログ電子回路 2 電子回路Ⅱ 2 電気回路Ⅳ 2 電子回路Ⅰ 2 電気回路Ⅲ 2	電子デバイス工学 2 電気電子材料 2	電機システムⅠ 2	電気回路Ⅱ 2 電気回路Ⅰ 2	10 単位	
分野	キャリア形成の基礎	工学の基礎	数理学と教育	その他連携科目	電気電子基礎	実験・演習・設計	電気電子回路	材料・物性・デバイス	エネルギー・電気機器	システム科学・通信	年間履修上限単位数44単位		
カリキュラムポリシー	<p>工学部ディプロマ・ポリシーに示した能力を備えた人材を育成するために、以下のような方針に基づいて必要な科目を開設し、学習者が主体的に学修できる科目を選択し取り入れるとともに、科目間の連携を高めるための工夫を凝らす。</p> <ol style="list-style-type: none"> 人文社会科学、自然科学、情報技術、数学、データサイエンス、経営、知的財産法概論などに関する科目によって、技術者に求められる幅広い教養を養う。 継続した教育によって、英語による基礎的なコミュニケーション能力を養う。 必修・選択科目の履修を通じて、専門分野に立って、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に活用できる。特に重要な科目については、履修機会を確保して提供する。 実験・演習(Project Based Learning, PBL)科目によって、自発的・継続的に学習する能力、論理的思考力ならびにコミュニケーション能力や協働への意欲を養う。 技術者倫理に関する科目によって、技術者としての使命や倫理的責任を認識させる。 工学部課程教育の高度化を図る観点から、論文発表や国際会議の発表、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など、実践力のある専門的技術者として必要な能力を養う。 <p>◆注：(3) (4) (5) (6)を明確化したものが、各学科のDPとなる</p>												
アドミッションポリシー	<p>電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。</p> <p>〈求める人物像〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 広く電気・電子工学に興味を有する人で、行動力のある実践的なエンジニアをめざす人 これまでに学んできた知識を進化させてものづくりに応用する意欲のある人 人や地球環境に配慮した工学技術に興味を持ち、持続可能な社会の発展に貢献する技術者をめざす向上心のある人 												

大学院博士前期課程	ディプロマポリシー	<ul style="list-style-type: none"> 電気電子工学に関する基礎的理論と総合的な専門知識、さらに応用技術まで幅広く理解し、広い視点と論理性に基づいて、先端技術動向やニーズを踏まえた総合的な判断力によって研究の実践、課題解決ができる。 電気電子工学に関する専門的知識を有し、技術的課題解決のため、他者との協働、外国語を含めたコミュニケーションやプレゼンテーションができる。 										99 単位											
	相当単位数合計	13 単位	20 単位	14 単位	10 単位	12 単位	6 単位	8 単位	8 単位	8 単位	99 単位												
M2 M1	前期・後期	<ul style="list-style-type: none"> 必修科目 不問科目 										99 単位											
	分野	共通横断	学際科目	専門横断	光・エレクトロニクス	情報・通信	エネルギー・機器	制御・システム	材料・機械工学	熱・流体	設計・製作		年間履修上限単位数なし										
カリキュラムポリシー	<ul style="list-style-type: none"> 「専門」に「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」を置き、学生課程教育で培ったエンジニアとしての能力をさらに高度化する。また、高度な基礎理論から最新の応用技術にわたる幅広い専門知識と先端技術のみならず、最新の専門的理論や最先端の応用技術を体系的に修得する。同時に国内外の関連する文献を調査・要約・整理してまとめた内容を的確に伝達する能力を養成するとともに、国内外での研究発表を通じて、自身の考えや研究成果を的確に伝達して議論できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。 「専門横断」では、研究分野の専門知識、技能を深めるとともに、他の工学分野と共通する工学知識や技術を修得する。 「共通横断」では数理分野、語学から社会倫理におよぶ幅広い知識を修得することにより、ユニバーサルな観点にわたった的確なもの見方と考え方を確立する。 																						
アドミッションポリシー	<p>「エレクトロニクス・情報分野」「電機・制御分野」において、高度な専門知識やスキルを駆使し、また、機械工学の知識を加味することで、社会・産業界が求める最新の技術開発ができる高度な技術者を養成する。また、社会貢献するという強い意志と自身の考えに基づいて解決能力を持って、それを実現するために努力を惜しむことなく邁進できる学生を求めている。</p> <p>〈求める人物像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」の基礎と応用技術を修得し、新しい技術開発に携わり、積極的に社会貢献したいと考えている人 自然環境との共生を持った社会の発展のために、自ら努力して成長していく意欲のある人 人間的な成長および自己実現をめざす向上心もち、共同作業の重要性を認識し実行できる人 																						
ディプロマポリシー	<p>4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。</p> <p>〈工学部〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学習活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔関心・意欲〕(主体的に生涯学習を継続する意欲と関心) 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけてそれらを活用できる。〔知識・理解・技能〕(技術者に求められる文・理・情報系の素養) 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に活用できる。〔理解・応用・技能〕(専門分野の知識・技術〔詳細は学科別]) 技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔協働・表現〕(相互に理解し議論するコミュニケーション能力) 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔意欲・協働〕(他者との協働による課題解決) 地球規模の視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命感や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔理解・応用・倫理〕(社会に対し能動的に貢献する行動力) <p>◆注：(3)を明確化したものが、各学科のDPとなる</p> <p>〈電気電子システム工学科〉</p> <p>電気電子システム工学科では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 社会が必要とするエンジニアとしての基礎力である数学・自然科学の基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟しそれらを活用することができる。〔基礎学力〕(基礎学力) 電気電子システム工学の基礎知識を活かし、技術的な課題を抽出し解決に導くことができる。〔知識・理解・論理的思考力〕(知識・理解・論理的思考力) 合理的な思考に基づき自分の意見を明確に発表でき、他者との討論を通じて互いの意見を理解しながらチームで課題解決の作業をすすめることができる。〔コミュニケーション能力〕(コミュニケーション能力) 持続可能な社会を実現するために、未知の課題に対応できるよう、幅広い学習経験に基づいて自主継続的に学習することができる。〔継続学習〕(継続学習) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負う使命と倫理的責任に基づいて行動することができる。〔技術者倫理〕(技術者倫理) <p>◆注：【】はディプロマ・サブメントシステムにおける学部および学科のディプロマ・ポリシー達成度項目を明示</p>																						
分野別到達目標	<p>グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野に立脚し、人文・社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけてそれらを活用できる。〔知識・理解・技能〕(技術者に求められる文・理・情報系の素養)</p> <p>工学の観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力として、数学・物理や他の自然科学の基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟しそれらを活用することができる。〔基礎学力〕(基礎学力)</p> <p>数学・物理や他の自然科学の基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟しそれらを活用することができる。〔基礎学力〕(基礎学力)</p> <p>グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野に立脚し、人文・社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけてそれらを活用できる。〔知識・理解・技能〕(技術者に求められる文・理・情報系の素養)</p> <p>問題の提起、解決法の探求、実験的検証に至るまでの方法論を提案でき、それを新たな技術の開発へと展開できる能力を身につけている。</p> <p>電子・光デバイスの動作原理や理論を理解し、これを応用した特性の計測などに応用する能力を身につけている。</p> <p>電気機器の構造や動作原理を理解し、発熱・送配電ならびにエネルギー変換の幅広い分野において電気を活用できる能力を身につけている。</p> <p>ソフトウェア・ハードウェアの基礎を理解でき、計算機システムや通信システムの専門基礎のほか、制御工学を組み合わせて多面的に活用できる力を身につけている。</p> <p>卒業に必要な単位数124単位</p>																						
相当単位数合計	-	-	-	22 単位	11 単位	16 単位	14 単位	18 単位	20 単位	101 単位													
通年	哲学(2) 倫理学(2) 美術史(2) 文学(2) 日本語の歴史(2) 法学(日本国憲法)(2) 経済学(2) 歴史学(2) 心理学(2) 日本の伝統と文化(2) 国際関係論(2) 日本の文化と社会Ⅰ(2) 日本の文化と社会Ⅱ(2) オーストラリア・ニュージーランドⅠa(1) オーストラリア・ニュージーランドⅠb(1) 工学コミュニケーション英語基礎a(1) 工学コミュニケーション英語基礎b(1) キャリア・イングリッシュⅠa(1) キャリア・イングリッシュⅠb(1) キャリア・イングリッシュⅡa(1) キャリア・イングリッシュⅡb(1) 英語プレゼンテーションa(1) 英語プレゼンテーションb(1) 中国語コミュニケーション(1) 中国語と現代中国事情(1) 生産スポーツⅠ・Ⅱ(各1)	微分方程式Ⅰ(2) 微分方程式Ⅱ(2) 物理学c(2) 物理学d(2) ものつくりマネジメント技術を活かす経営(2) 知的財産法概論(2) 品質管理(2) 確率と統計Ⅰ(2) 確率と統計Ⅱ(2) 宇宙・地球・生命一探究演習(1)	級数とフーリエ解析(2) ベクトル解析(2) 線形代数Ⅲ(2) 線形代数Ⅳ(2) 複素解析Ⅰ(2) 複素解析Ⅱ(2) 応用数学Ⅰ(2) 応用数学Ⅱ(2) 実践化学Ⅱ(2) 地球システムと人間(2) 環境生物学(2) 人間発達と人権(2) 教育原論(2)	インターシップ(2)	卒業研究	オートエレクトロニクス 2 センサ工学 2 LSI工学 2	電機設計/CAD製図 2	工学研究基礎 2 技術者倫理 2 電磁界理論 2 電気電子システム総論 2	電気電子システム実験c 3 電気電子システム実験b 3	電機設計/CAD製図 2	先端研究概論 2 基礎電気計測 2 電磁気学Ⅲ 2 電磁気学Ⅱ 2 電気数学 2 電磁気学Ⅰ 2	計算機プログラミング 2	電気電子システム実験a 3	電子回路工学Ⅱ 2 電子回路Ⅳ 2 デジタル電子回路 2 電子回路工学Ⅰ 2 電子回路Ⅲ 2	電子デバイス工学 2 電気電子材料 2	電気応用 2 電気システムⅡ 2 電気システムⅠ 2 エネルギー変換工学 2 電気法規および施設管理 2 パワーエレクトロニクス 2 電機システムⅡ 2 高電圧・パルスパワー工学 2	ロボット工学 2 アンテナ・伝送工学 2 電波・通信法規 2	制御工学Ⅱ 2 情報通信工学 2 ネットワーク工学 2	電機システムⅠ 2	制御工学Ⅰ 2 システム工学 2	2 5 4	前期・後期	27 単位
1	世界と人間(2) 文章表現概論(2) ペーパー・イングリッシュⅠ(1) ペーパー・イングリッシュⅡ(1) オーストラリア・ニュージーランドⅠa(1) オーストラリア・ニュージーランドⅠb(1) 海外語学研修(2) 日本語Ⅰ(2) 日本語Ⅱ(2) 健康体育Ⅰ(1) 健康体育Ⅱ(1)	解学Ⅰ演習(1) 解学Ⅱ(2) 解学Ⅲ演習(1) 解学Ⅳ(2) 解学Ⅴ演習(1) 線形代数Ⅰ・Ⅱ(各2) 物理学実験(2) 物理学実験(2) 化学(2) 地球科学(2) 生物科学(2) 基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ(各1) 深川学(1) 開発プロセス基礎演習(1)	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野に立脚し、人文・社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけてそれらを活用できる。〔知識・理解・技能〕(技術者に求められる文・理・情報系の素養)	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野に立脚し、人文・社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけてそれらを活用できる。〔知識・理解・技能〕(技術者に求められる文・理・情報系の素養)	卒業研究	オートエレクトロニクス 2 センサ工学 2 LSI工学 2	電機設計/CAD製図 2	工学研究基礎 2 技術者倫理 2 電磁界理論 2 電気電子システム総論 2	電気電子システム実験c 3 電気電子システム実験b 3	電機設計/CAD製図 2	先端研究概論 2 基礎電気計測 2 電磁気学Ⅲ 2 電磁気学Ⅱ 2 電気数学 2 電磁気学Ⅰ 2	計算機プログラミング 2	電気電子システム実験a 3	電子回路工学Ⅱ 2 電子回路Ⅳ 2 デジタル電子回路 2 電子回路工学Ⅰ 2 電子回路Ⅲ 2	電子デバイス工学 2 電気電子材料 2	電気応用 2 電気システムⅡ 2 電気システムⅠ 2 エネルギー変換工学 2 電気法規および施設管理 2 パワーエレクトロニクス 2 電機システムⅡ 2 高電圧・パルスパワー工学 2	ロボット工学 2 アンテナ・伝送工学 2 電波・通信法規 2	制御工学Ⅱ 2 情報通信工学 2 ネットワーク工学 2	電機システムⅠ 2	制御工学Ⅰ 2 システム工学 2	1	前期・後期	10 単位
分野	キャリア形成の基礎	工学の基礎	数理学と教育	その他連携科目	分野	電気電子基礎	実験・演習・設計	電気電子回路	材料・物性・デバイス	エネルギー・電気機器	システム科学・通信	年間履修上限単位数44単位											
カリキュラムポリシー	<p>工学部ディプロマ・ポリシーに示した能力を備えた人材を育成するために、以下のような方針に基づいて必要な科目を開設し、学習者が主体的に学習できる科目を選択し取り入れるとともに、科目間の連携を図り高い教育効果がもたらされる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 人文・社会科学、自然科学、情報技術、経営、データサイエンス、経営、知的財産法概論などに関する科目によって、技術者に求められる幅広い教養を養う。 継続した教育によって、実務による基礎的なコミュニケーション能力を養う。 必修・選択科目の履修状況に応じて、専門分野に立脚した専門的知識を身に付ける。特に重要な科目については、履修機会を確保して保証する。 実験・演習(Project Based Learning, PBL)科目によって、自発的・継続的に学習する能力、論理的思考力ならびにコミュニケーション能力や協働への意欲を養う。 技術者倫理に関する科目によって、技術者としての使命や倫理的責任を認識させる。 工学部課程教育の高度化を図る重要観点として、論文発表や国際的な発表、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など、実践力のある専門的技術者として必要な能力を養う。 <p>◆注：(3) (4) (5) (6)を明確化したものが、各学科のDPとなる</p>																						
アドミッションポリシー	<p>電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。</p> <p>〈求める人物像〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 広く電気・電子工学に興味を有する人で、行動力のある実践的なエンジニアをめざす人 これまでに学んできた知識を進化させてものづくりに応用する意欲のある人 人や地球環境に配慮した工学技術に興味を持ち、持続可能な社会の発展に貢献する技術者をめざす向上心のある人 																						

大学院 博士前期課程	ディプロマポリシー	電気電子工学に関する基礎的理論と総合的な専門的知識、さらに応用技術まで幅広く理解し、広い視点と倫理性に基づいて、先端技術動向やニーズを踏まえた総合的な判断力によって研究の実践、課題解決ができる。 電気電子工学に関する専門的知識を有し、技術的課題解決のため、他者との協働、外国語を含めたコミュニケーションやプレゼンテーションができる。										99 単位										
	相当単位数合計	13 単位		20 単位		相当単位数合計	14 単位		10 単位		12 単位		6 単位		8 単位		8 単位		8 単位		99 単位	
	前期・後期	M2 M1		M2 M1		M2 M1		M2 M1		M2 M1		M2 M1		M2 M1		M2 M1		M2 M1		M2 M1		99 単位
	必修科目	グローバルテクノロジー特論b 1		エンジニアリング・コミュニケーション特論 1		半導体エレクトロニクス特論 2		ソフトウェア特論 2		エネルギー・環境工学特論 2		エネルギー・環境工学特論 2		エネルギー・環境工学特論 2		エネルギー・環境工学特論 2		エネルギー・環境工学特論 2		エネルギー・環境工学特論 2		99 単位
	不問科目	材料・デバイス開発実務特論 3		ロボティクス特論 2		表示デバイス工学特論 2		通信システム・方式特論 2		電力工学特論 2		電力工学特論 2		電力工学特論 2		電力工学特論 2		電力工学特論 2		電力工学特論 2		99 単位
	グローバルテクノロジー特論a 1	航空宇宙工学特論 2		自動工学特論 2		光機能工学特論 2		計算機工学特論 2		パワーエレクトロニクス特論 2		パワーエレクトロニクス特論 2		パワーエレクトロニクス特論 2		パワーエレクトロニクス特論 2		パワーエレクトロニクス特論 2		パワーエレクトロニクス特論 2		99 単位
	技術経営特論 2	国際ナショナルプレゼンテーション 1		グローバル・リーダーシップ特論 2		半導体デバイス工学特論 2		電磁波工学特論 2		メカトロニクス特論 2		メカトロニクス特論 2		メカトロニクス特論 2		メカトロニクス特論 2		メカトロニクス特論 2		メカトロニクス特論 2		99 単位
	応用数学特論 2	フィールド研究 4		フィールドプラクティス 4		集積回路設計特論 2		情報工学特論 2		プラズマ工学特論 2		プラズマ工学特論 2		プラズマ工学特論 2		プラズマ工学特論 2		プラズマ工学特論 2		プラズマ工学特論 2		99 単位
	応用物理学特論 2	外国語特論 2		共選横断		学際科目		専門横断		光・エレクトロニクス		情報・通信		エネルギー・機器		制御・システム		材料・機械力学		熱・流体		99 単位
	分分野	共選横断		学際科目		専門横断		光・エレクトロニクス		情報・通信		エネルギー・機器		制御・システム		材料・機械力学		熱・流体		設計・製作		年間履修上限単位数 44単位
カリキュラムポリシー	「専門」に「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」を置き、学士課程教育で培ったエンジニアとしての能力をさらに高度化する。また、高度な基礎理論から最新の応用技術にわたる幅広い専門知識と先端技術のみならず、最新の専門的理論や最先端の応用技術を体系的に修得する。同時に国内外の関連する文献を調査・要約・整理してまとめた内容を的確に伝達する能力を養成するとともに、国内外での研究発表を通じて、自身の考えや研究成果を積極的に伝達して議論できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。 「専門横断」では、研究分野の専門知識・技能を深めるとともに、他の工学分野と共通する工学知識や技術を修得する。 「共選横断」では数理分野、語学から社会倫理におよぶ幅広い知識を修得することにより、ユニバーサルな観点にたつた的確なものの方針と考え方を確立する。																					
アドミッションポリシー	「エレクトロニクス・情報分野」「電機・制御分野」において、高度な専門知識やスキルを駆使し、また、機械工学の知識を加味することで、社会・産業界が求める最新の技術開発ができる高度な技術者を養成する。また、社会貢献するという強い意志と自身の考えに基づいて解決能力を持って、それを実現するために努力を惜しむことなく進んでいく学生を求めている。 (求める人物像) ・「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」の基礎と応用技術を修得し、新しい技術開発に携わり、積極的に社会貢献したいと考えている人 ・ 自然環境との共生を伴った社会の発展のために、自ら努力して成長していき有意義のある人 ・ 人間的な成長および自己実現をめざす向上心をもち、共同作業の重要性を認識し実行できる人																					
ディプロマポリシー	4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。 ＜工学部＞ 1) 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学習活動を積み重ねる関心と意欲を持てる。[関心・意欲][主体的に生涯学習を継続する意欲と関心] 2) 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけてそれらを活用できる。[知識・理解・技能][技術者に求められる文・情報系の素養] 3) 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の変遷に応じてそれらを実践的に適用できる。[理解・応用・技能][専門分野の知識・技術(詳細は学科DIP)] 4) 技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。[協働・表現][相互に理解し議論するコミュニケーション能力] 5) 社会的な課題の解決に向けて、他者との協働的に協働して取り組むことができる。[意欲・協働][他者との協働による課題解決力] 6) 地球的な視野に立ち、持続可能な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命感や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。[理解・応用・倫理][社会に対し能動的に貢献する行動力] ◆注:「3)」を明確化したものが、各学科のDIPとなる ＜電気電子システム工学科＞ 電気電子システム工学科では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。 (A) 社会で必要とされるエンジニアとしての基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟しそれらを活用することができる。[基礎学力][基礎学力] (B) 電気電子システム工学の基礎知識を活かし、体系的な課題を抽出し、解決に導くことができる。[知識・理解・論理的思考力][知識・理解・論理的思考力] (C) 理論的思考に基づき自分の意見を明確に発表でき、他者との討論を通じて互いの意見を理解しながらチームで課題解決の作業をすすめることができる。[コミュニケーション能力][コミュニケーション能力] (D) 持続可能な社会を実現するために、未知の課題に対応できるよう、幅広い学修経験に基づいて自主的に学修することができる。[継続学修][継続学修] (E) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負う使命と倫理的責任に基づいて行動することができる。[技術者倫理][技術者倫理] ◆注:「1)」はディプロマ・サブリメントシステムにおける学部および学科のディプロマ・ポリシー達成度項目を明示																					
分分野別到達目標	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文的知識を身につけて、社会の発展に貢献できる。[知識・理解・技能][知識・理解・技能]		工学部他他の自然科学領域の基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟し、それらを活用することができる。[基礎学力][基礎学力]		他者との協働的に協働して取り組むことができる。[意欲・協働][他者との協働による課題解決力]		グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文的知識を身につけて、社会の発展に貢献できる。[知識・理解・論理的思考力][知識・理解・論理的思考力]		電気回路および電磁気学の基本式を理解し、数式を用いて表現でき、さまざまな各種計測技術を駆使して電気・電子工学における諸問題を克服できる力を身につけている。		問題の理屈、解決法の探求、実験的検証に至るまでの方法論を提案でき、それを新たな技術の開発へと展開できる能力を身につけている。		諸定理を用いて電気回路の回路計算ができ、アナログ回路からデジタル回路に至るまでの各種電子回路の計算ができる能力を身につけている。		電子・光デバイスの動作原理や理論を理解し、これを構築したり特性の計測などに応用する能力を身につけている。		電気機器の構造や動作原理を理解し、発電・送配電ならびにエネルギー変換の幅広い分野において電気を活用できる能力を身につけている。		ソフトウェア・ハードウェアの基礎を理解でき、計算機システムや通信システムの専門基礎のほか、制御工学を組み合わせて多面的に活用できる力を身につけている。		卒業に必要な単位数 124単位	
相当単位数合計	-		-		-		-		18 単位		13 単位		16 単位		14 単位		18 単位		20 単位		99 単位	
2 5 4	前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		16 単位	
1	前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		25 単位	
1	前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		前期・後期		10 単位	
分分野	キャリア形成の基礎		工学の基礎		数理解科と教育		その他選修科目		電気電子基礎		実験・演習・設計		電気電子回路		材料・物性・デバイス		エネルギー・電気機器		システム科学・通信		年間履修上限単位数 44単位	
カリキュラムポリシー	＜工学部カリキュラム・ポリシー＞ 工学部ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を備えた人材を育成するために、以下の各方針に基づいて必要な科目を開設し、学習者が主体的に学修できる科目を選択し取り入れることにより、科目間の有機的な体系的な学びを実現する。 1) 人文社会科学や自然科学・情報技術、経営、知的財産および環境共生などに関する科目を通じて、技術者に求められる幅広い教養を養う。 2) 継続的な学習によって、深い専門的知識と体系的な知識を身につける。特に重要な科目については、履修機会を確保して学習する。 3) 必修・選択(選択必修を含む)科目によって、専門分野の広範な知識を体系的に身につける。特に重要な科目については、履修機会を確保して学習する。 4) 実験・実習・卒業論文(Project Based Learning, PBL)科目によって、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論するコミュニケーション能力や協働への意識を養う。 5) 卒業論文(卒業論文)科目によって、技術者としての使命感や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。 6) 学士課程教育の質を高める卒業研究によって、論文をまとめる理論的思考力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など、実践力のある専門的技術者として必要な能力を養う。 ◆注:「3)」「4)」「5)」「6)」を明確化したものが、各学科のDIPとなる																					
アドミッションポリシー	電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。 (求める人物像) (1) 広く電気・電子工学に興味を有する人で、行動力のある実践的なエンジニアをめざす人 (2) これまでに学んできた知識を進化させて「ものづくり」に応用する意欲がある人 (3) 人や地球環境に配慮した工学技術に興味を持ち、持続可能な社会の発展に貢献する技術者をめざす向上心のある人																					

ディプロマポリシー
・電気電子工学に関する基礎的理論と複合的な専門的知識、さらに応用技術までを幅広く理解し、広い視点と倫理性に基づいて、先端技術動向やニーズを踏まえた総合的な判断力によって研究の実践、課題解決ができる。
・電気電子工学に関する専門的スキルを有し、技術的課題解決のため、他者との協働、外国語を含めたコミュニケーションやプレゼンテーションができる。

13単位 20単位 14単位 10単位 10単位 6単位 8単位 6単位 8単位 95単位

Table with columns for '必修科目', '不関課科目', '応用数学特論', '応用物理学特論', 'グローバルテクノロジー特論b', '材料・デバイス開発実務特論', 'グローバルテクノロジー特論a', '技術経営特論', '外国語特論', 'ファイールド研究', 'エンジンアリアング・コミュニケーション特論', 'CAD/CAM特論', '自動車工学特論', 'グローバル・リーダーシップ特論', '半導体エレクトロニクス特論', '表示デバイス工学特論', 'フォトニクス工学特論', '電子物性特論', 'ソフトウェア特論', '通信システム・方式特論', '計算機工学特論', '電磁波工学特論', '情報工学特論', 'エネルギー・環境工学特論', 'パルスパワー工学特論', '電力工学特論', 'パワーエレクトロニクス特論', 'メカトロニクス特論', 'プラズマ工学特論', '材料設計工学特論', '加工工学特論', '振動工学特論', '内燃機関特論', '流体工学特論', '伝熱工学特論', '機械制御特論', '機械制御特論', '接合工学特論', '航空工学特論'.

Table with columns for '分野' (Fields) including: 数理科目, 学際科目, 共通横断, 専門横断, 光・エレクトロニクス, エレクトロニクス・情報分野, 情報・通信, エネルギー・機器, 制御・システム, 材料・機械工学, 熱・流体, 設計・製作, エネルギー・環境工学, パルスパワー工学, 電力工学, パワーエレクトロニクス, 最適システム工学, 材料設計工学, 加工工学, 振動工学, 内燃機関, 流体工学, 伝熱工学, 機械制御, 接合工学, 航空工学.

カリキュラムポリシー
・「専門」にエレクトロニクス・情報分野、「電機・制御分野」を置き、学士課程教育で培ったエンジニアとしての能力をさらに高度化する。また、高度な基礎理論から最新の応用技術にわたる幅広い専門知識と先端技術のみならず、最新の専門的理論や最先端の応用技術を体系的に修得する。同時に国内外の関連する文献を調査・要約・整理してまとめた内容を的確に伝達する能力を養成するとともに、国内外での研究発表を通じて、自身の考えや研究成果を的確に伝達して議論できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。
・「専門横断」では、研究分野の専門知識・技能を深めるとともに、他の工学分野と共通する工学知識や技術を修得する。
・「共通横断」では数理分野、語学から社会倫理におよぶ幅広い知識を修得することにより、ユニバーサルな観点にたつた的確なもの見方と考え方を確立する。

アドミッションポリシー
「エレクトロニクス・情報分野」「電機・制御分野」において、高度な専門知識やスキルを駆使し、また、機械工学の知識を加味することで、社会・産業界が求める最新の技術開発ができる高度な技術者を養成する。また、社会貢献するという強い意志と自身の考えに基づいて解決能力を持って、それを実現するために努力を惜しむことなく邁進できる学生を求めている。
(求める人物像)
・「エレクトロニクス・情報分野」「電機・制御分野」の基礎と応用技術を修得し、新しい技術開発に携わり、積極的に社会貢献したいと考えている人
・自然環境との共生を伴った社会の発展のために、自ら努力して成長していく意欲のある人
・人間的な成長および自己実現をめざす向上心をもち、共同作業の重要性を認識し実行できる人

ディプロマポリシー
4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。
<工学部>
1) 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。【関心・意欲】[主体的に生涯学習を継続する意欲と関心]
2) 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身に付けそれらを活用することができる。【知識・理解・技能】[技術者に求められる文・情報系の素養]
3) 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に通用できる。【理解・応用】[専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)]
4) 技術者および社会人としてのコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。【協働・表現】[相互に理解し議論するコミュニケーション能力]
5) 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。【意欲・協働】[他者との協働による課題解決力]
6) 地球規模の視野に立ち、持続可能な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命感や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。【理解・応用・倫理】[社会に対し能動的に貢献する行動力]
◆注：【3】を明確化したものが、各学科のDPとなる
<電気電子システム工学科>
電気電子システム工学科では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。
(A) 社会で必要とされるエンジニアとしての基礎力である数学・自然科学の基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟しそれらを活用することができる。【基礎学力】[基礎学力]
(B) 電気電子システム工学の基礎知識を活かし、技術的な課題を抽出し解決に導くことができる。【知識・理解・論理的思考力】[知識・理解・論理的思考力]
(C) 理論的な思考に基づき自分の意見を明確に発表でき、他者との討論を通じて互いの意見を理解しながらチームで課題解決の作業をすすめることができる。【コミュニケーション能力】[コミュニケーション能力]
(D) 持続可能な社会を実現するために、未知の課題に対応できるよう、幅広い学修経験に基づいて自主継続的に学修することができる。【継続学修】[継続学修]
(E) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負う使命と倫理的責任に基づいて行動することができる。【技術者倫理】[技術者倫理]
◆注：【】はディプロマ・サプリメントシステムにおける学部および学科のディプロマ・ポリシー達成項目を示す

Table with columns for '分野別到達目標' (Field-specific Learning Objectives) for: 電気回路および電磁気学の基本式を理解し、数式を用いて表現でき、さまざまな各種計測技術を駆使して電気・電子工学における諸問題を克服できる力を身につけている。; 問題の提起、解決法の探求、実験的検証に至るまでの方法論を提案でき、それを新たな技術の開発へと展開できる能力を身につけている。; 諸定理を用いて電気回路の回路計算ができ、アナログ回路からデジタル回路に至るまでの各種電子回路の計算に適用する能力を身につけている。; 電子・光デバイスの動作原理や理論を理解し、これらを実験したり特性の計測などに適用する能力を身につけている。; 電気機器の構造や動作原理を理解し、発電・送配電ならびにエネルギー変換の幅広い分野において電気を活用できる能力を身につけている。; ソフトウェア・ハードウェアの基礎を理解できおり、計算機システムや通信システムの専門基礎のほか、制御工学を組み合わせて多面的に活用できる力を身につけている。

18単位 13単位 16単位 14単位 18単位 20単位 99単位

Table with columns for '学部' (Faculty) and '卒業研究' (Graduation Research). It lists various subjects like Philosophy, History, Japanese Language, Law, Economics, Psychology, Sociology, Japanese Culture, English, Mathematics, Physics, Chemistry, Biology, Environmental Science, Information Science, etc., along with their units and whether they are required or elective.

Table with columns for '分野' (Fields) including: キャリア形成の基礎, 工学の基礎, 数理科学と教育, その他選修科目, 電気電子基礎, 実験・演習・設計, 電気電子回路, 材料・物性・デバイス, エネルギー・電気機器, システム科学・通信.

アドミッションポリシー
電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。
(求める人物像)
(1) 広く電気・電子工学に興味を有する人で、行動力のある実践的なエンジニアをめざす人
(2) これまでに学んできた知識を進化させて「ものづくり」に応用する意欲のある人
(3) 人や地球環境に配慮した工学技術に興味を持ち、持続可能な社会の発展に貢献する技術者をめざす向上心のある人

ディプロマポリシー	電気電子工学に関する基礎的理論と複合的な専門的知識、さらに応用技術まで幅広く理解し、広い視点と倫理性に基づいて、先端技術動向やニーズを踏まえた総合的な判断力によって研究の実践、課題解決ができる。 電気電子工学に関する専門的スキルを有し、技術的課題解決のため、他者との協働、外国語を含めたコミュニケーションやプレゼンテーションができる。																																																																																		
相当単位数合計	13単位			20単位			相当単位数合計	14単位			10単位		12単位		6単位		8単位		6単位		8単位		97単位																																																												
前期・後期	<table border="1"> <tr> <td>必修科目</td> <td>グローバルテクノロジー特論b 1</td> <td colspan="2">エンジニアリング・コミュニケーション特論 1</td> </tr> <tr> <td>不開講科目</td> <td>材料・デバイス開発実務特論 3</td> <td>ロボティクス特論 2</td> <td>CAD/CAM特論 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>グローバルテクノロジー特論a 1</td> <td>航空宇宙工学特論 2</td> <td>自動車工学特論 2</td> </tr> <tr> <td>応用数学特論 2</td> <td>技術経営特論 2</td> <td>インターナショナルプレゼンテーション 1</td> <td>グローバルリーダーシップ特論 2</td> </tr> <tr> <td>応用物理学特論 2</td> <td>外国語特論 2</td> <td>フィールド研究 4</td> <td>フィールドプラクティス 4</td> </tr> </table>												必修科目	グローバルテクノロジー特論b 1	エンジニアリング・コミュニケーション特論 1		不開講科目	材料・デバイス開発実務特論 3	ロボティクス特論 2	CAD/CAM特論 2		グローバルテクノロジー特論a 1	航空宇宙工学特論 2	自動車工学特論 2	応用数学特論 2	技術経営特論 2	インターナショナルプレゼンテーション 1	グローバルリーダーシップ特論 2	応用物理学特論 2	外国語特論 2	フィールド研究 4	フィールドプラクティス 4	前期・後期	<table border="1"> <tr> <td>半導体エレクトロニクス特論 2</td> <td>表示デバイス工学特論 2</td> <td>フォトニクス工学特論 2</td> <td>電子物性特論 2</td> <td>光・エレクトロニクス</td> <td>ソフトウェア特論 2</td> <td>通信システム・方式特論 2</td> <td>情報工学特論 2</td> <td>情報・通信</td> <td>エネルギー・環境工学特論 2</td> <td>パルスパワー工学特論 2</td> <td>電力工学特論 2</td> <td>パワーエレクトロニクス特論 2</td> <td>メカトロニクス特論 2</td> <td>プラズマ工学特論 2</td> <td>エネルギー・機器</td> <td>制御・システム</td> <td>材料設計工学特論 2</td> <td>加工工学特論 2</td> <td>材料力学特論 2</td> <td>内燃機関特論 2</td> <td>流体工学特論 2</td> <td>接合工学特論 2</td> <td>航空工学特論 2</td> <td>97単位</td> </tr> <tr> <td colspan="4">エレクトロニクス・情報分野</td> <td colspan="4">電機・制御分野</td> <td colspan="4">材料・機械工学分野</td> </tr> </table>												半導体エレクトロニクス特論 2	表示デバイス工学特論 2	フォトニクス工学特論 2	電子物性特論 2	光・エレクトロニクス	ソフトウェア特論 2	通信システム・方式特論 2	情報工学特論 2	情報・通信	エネルギー・環境工学特論 2	パルスパワー工学特論 2	電力工学特論 2	パワーエレクトロニクス特論 2	メカトロニクス特論 2	プラズマ工学特論 2	エネルギー・機器	制御・システム	材料設計工学特論 2	加工工学特論 2	材料力学特論 2	内燃機関特論 2	流体工学特論 2	接合工学特論 2	航空工学特論 2	97単位	エレクトロニクス・情報分野				電機・制御分野				材料・機械工学分野				年履修上限単位数なし
必修科目	グローバルテクノロジー特論b 1	エンジニアリング・コミュニケーション特論 1																																																																																	
不開講科目	材料・デバイス開発実務特論 3	ロボティクス特論 2	CAD/CAM特論 2																																																																																
	グローバルテクノロジー特論a 1	航空宇宙工学特論 2	自動車工学特論 2																																																																																
応用数学特論 2	技術経営特論 2	インターナショナルプレゼンテーション 1	グローバルリーダーシップ特論 2																																																																																
応用物理学特論 2	外国語特論 2	フィールド研究 4	フィールドプラクティス 4																																																																																
半導体エレクトロニクス特論 2	表示デバイス工学特論 2	フォトニクス工学特論 2	電子物性特論 2	光・エレクトロニクス	ソフトウェア特論 2	通信システム・方式特論 2	情報工学特論 2	情報・通信	エネルギー・環境工学特論 2	パルスパワー工学特論 2	電力工学特論 2	パワーエレクトロニクス特論 2	メカトロニクス特論 2	プラズマ工学特論 2	エネルギー・機器	制御・システム	材料設計工学特論 2	加工工学特論 2	材料力学特論 2	内燃機関特論 2	流体工学特論 2	接合工学特論 2	航空工学特論 2	97単位																																																											
エレクトロニクス・情報分野				電機・制御分野				材料・機械工学分野																																																																											
分野	数理科目			学際科目			専門横断			光・エレクトロニクス			情報・通信		エネルギー・機器		制御・システム		材料・機械工学		熱・流体		設計・製作		年履修上限単位数なし																																																										
カリキュラムポリシー	<p>「専門」にエレクトロニクス・情報分野、「電機・制御分野」を置き、学士課程教育で培ったエンジニアとしての能力をさらに高度化する。また、高度な基礎理論から最新の応用技術にわたる幅広い専門知識と先端技術のみならず、最新の専門的理論や最先端の応用技術を体系的に修得する。同時に国内外の関連する文献を調査・要約・整理してまとめた内容を的確に伝達する能力を養成するとともに、国内外での研究発表を通じて、自身の考えや研究成果を的確に伝達して議論できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。</p> <p>「専門横断」では、研究分野の専門知識・技能を深めるとともに、他の工学分野と共通する工学知識や技術を修得する。</p> <p>「共通横断」では数理分野、語学から社会倫理におよぶ幅広い知識を修得することにより、ユニバーサルな観点にたつた的確なもの見方と考え方を確立する。</p>																																																																																		
アドミッションポリシー	<p>「エレクトロニクス・情報分野」「電機・制御分野」において、高度な専門知識やスキルを駆使し、また、機械工学の知識を加味することで、社会・産業界が求める最新の技術開発ができる高度な技術者を養成する。また、社会貢献するという強い意志と自身の考えに基づいて解決能力を持って、それを実現するために努力を惜しむことなく邁進できる学生を求めている。</p> <p>〈求める人物像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」の基礎と応用技術を修得し、新しい技術開発に携わり、積極的に社会貢献したいと考えている人 自然環境との共生を伴った社会の発展のために、自ら努力して成長していく意欲のある人 人間的な成長および自己実現をめざす向上心をもち、共同作業の重要性を認識し実行できる人 																																																																																		

4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。

＜工学部＞

- 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔関心・意欲〕[主体的に生涯学習を継続する意欲と関心]
- 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身に付けそれらを活用できる。〔知識・理解・技能〕[技術者に求められる文・情報系の素養]
- 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に活用できる。〔理解・応用・技能〕[専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)]
- 技術者および社会人としてふたつに「コミュニケーション能力」を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔協働・表現〕[相互に理解し議論するコミュニケーション能力]
- 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔意欲・協働〕[他者との協働による課題解決力]
- 地球規模の視野に立ち、持続可能な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命感や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔理解・応用・倫理〕[社会に対し能動的に貢献する行動力]

◆注：「3」を明確化したものが、各学科のDPとなる

＜電気電子システム工学科＞

電気電子システム工学科では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学際として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。

(A) 社会で必要とされるエンジニアとしての基礎力である数学・自然科学の基礎知識と電気電子工学分野の基礎知識に習熟しそれらを活用することができる。〔基礎学力〕[基礎学力]

(B) 電気電子システム工学の基礎知識を活かし、技術的な課題を抽出・解決に導くことができる。〔知識・理解・論理的思考力〕[知識・理解・論理的思考力]

(C) 理論的な思考に基づき自分の意見を明確に発表でき、他者との討論を通じて互いの意見を理解しながらチームで課題解決の作業をすすめることができる。〔コミュニケーション能力〕[コミュニケーション能力]

(D) 持続可能な社会を実現するために、未知の課題に対応できるよう、幅広い学修経験に基づいて自主継続的に学修することができる。〔継続学修〕[継続学修]

(E) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負う使命と倫理的責任に基づいて行動することができる。〔技術者倫理〕[技術者倫理]

◆注：【】はディプロマ・サプリメントシステムにおける学部および学科のディプロマ・ポリシー達成項目を示す

ディプロマポリシー	4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。																														
分野別到達目標	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視点の人文的知識に基づき思考・判断力と、言語の基礎的知識を活かしたコミュニケーション能力が求められること。心身の健康を維持推進する方を備えている。			工学的観点から社会特異的に発展させる基礎的素養・能力として、数学・物理や他の自然科学の基礎知識を理解・応用し、自然現象の発生を説明し、思考・判断力があること。心身の健康を維持推進する方を備えている。			数学や他の自然科学の基礎知識を併用し、幅広い知識を身に付けそれらを活用できること。広い人間性を発揮し、他者との協働による課題解決力があること。心身の健康を維持推進する方を備えている。			グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、数学・物理や他の自然科学の基礎知識を併用し、幅広い知識を身に付けそれらを活用できること。広い人間性を発揮し、他者との協働による課題解決力があること。心身の健康を維持推進する方を備えている。																					
相当単位数合計	-			-			-			-			18単位			13単位			16単位			14単位			18単位			20単位			99単位

前期・後期	卒業研究												卒業に必要な単位数124単位																																																					
前期・後期	<table border="1"> <tr> <td>センサ工学 2</td> <td>電気応用 2</td> <td>ロボット工学 2</td> </tr> <tr> <td>LSI工学 2</td> <td>電力システムII 2</td> <td>アンテナ・伝送工学 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電力システムI 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>エネルギー変換工学 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>電気法規および施設管理 2</td> <td>制御工学II 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電子物性論 2</td> <td>情報通信工学 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プラズマエレクトロニクス 2</td> <td>ネットワーク工学 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>オプトエレクトロニクス 2</td> <td>制御工学I 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高電圧・パルスパワー工学 2</td> <td>システム工学 2</td> </tr> </table>												センサ工学 2	電気応用 2	ロボット工学 2	LSI工学 2	電力システムII 2	アンテナ・伝送工学 2		電力システムI 2			エネルギー変換工学 2			電気法規および施設管理 2	制御工学II 2		電子物性論 2	情報通信工学 2		プラズマエレクトロニクス 2	ネットワーク工学 2		オプトエレクトロニクス 2	制御工学I 2		高電圧・パルスパワー工学 2	システム工学 2	46単位																										
センサ工学 2	電気応用 2	ロボット工学 2																																																																
LSI工学 2	電力システムII 2	アンテナ・伝送工学 2																																																																
	電力システムI 2																																																																	
	エネルギー変換工学 2																																																																	
	電気法規および施設管理 2	制御工学II 2																																																																
	電子物性論 2	情報通信工学 2																																																																
	プラズマエレクトロニクス 2	ネットワーク工学 2																																																																
	オプトエレクトロニクス 2	制御工学I 2																																																																
	高電圧・パルスパワー工学 2	システム工学 2																																																																
前期・後期	<table border="1"> <tr> <td>基礎電気計測 2</td> <td>電磁気学III 2</td> <td>電磁気学II 2</td> <td>電磁気学I 2</td> </tr> <tr> <td>計算機プログラミング 2</td> <td>電磁気学I 2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気電子システムPBL 2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気電子システム実験c 3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気電子システム実験b 3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技術者倫理 2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電磁界理論 2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>												基礎電気計測 2	電磁気学III 2	電磁気学II 2	電磁気学I 2	計算機プログラミング 2	電磁気学I 2			電気電子システムPBL 2				電気電子システム実験c 3				電気電子システム実験b 3				技術者倫理 2				電磁界理論 2				25単位																									
基礎電気計測 2	電磁気学III 2	電磁気学II 2	電磁気学I 2																																																															
計算機プログラミング 2	電磁気学I 2																																																																	
電気電子システムPBL 2																																																																		
電気電子システム実験c 3																																																																		
電気電子システム実験b 3																																																																		
技術者倫理 2																																																																		
電磁界理論 2																																																																		
前期・後期	<table border="1"> <tr> <td>電気電子システム実験a 3</td> <td>電子回路工学II 2</td> <td>電子回路工学I 2</td> <td>電子回路III 2</td> <td>電子デバイス工学 2</td> <td>電機システムI 2</td> </tr> <tr> <td>アナログ電子回路 2</td> <td>デジタル電子回路 2</td> <td>電子回路工学I 2</td> <td>電子回路III 2</td> <td>電気電子材料 2</td> <td>電機システムI 2</td> </tr> <tr> <td>電子回路工学II 2</td> <td>電子回路IV 2</td> <td>電子回路工学I 2</td> <td>電子回路III 2</td> <td>電気電子材料 2</td> <td>電機システムI 2</td> </tr> <tr> <td>電気電子システム実験c 3</td> <td>電子回路工学II 2</td> <td>電子回路工学I 2</td> <td>電子回路III 2</td> <td>電気電子材料 2</td> <td>電機システムI 2</td> </tr> <tr> <td>電気電子システム実験b 3</td> <td>電子回路工学II 2</td> <td>電子回路工学I 2</td> <td>電子回路III 2</td> <td>電気電子材料 2</td> <td>電機システムI 2</td> </tr> <tr> <td>技術者倫理 2</td> <td>電子回路工学II 2</td> <td>電子回路工学I 2</td> <td>電子回路III 2</td> <td>電気電子材料 2</td> <td>電機システムI 2</td> </tr> <tr> <td>電磁界理論 2</td> <td>電子回路工学II 2</td> <td>電子回路工学I 2</td> <td>電子回路III 2</td> <td>電気電子材料 2</td> <td>電機システムI 2</td> </tr> </table>												電気電子システム実験a 3	電子回路工学II 2	電子回路工学I 2	電子回路III 2	電子デバイス工学 2	電機システムI 2	アナログ電子回路 2	デジタル電子回路 2	電子回路工学I 2	電子回路III 2	電気電子材料 2	電機システムI 2	電子回路工学II 2	電子回路IV 2	電子回路工学I 2	電子回路III 2	電気電子材料 2	電機システムI 2	電気電子システム実験c 3	電子回路工学II 2	電子回路工学I 2	電子回路III 2	電気電子材料 2	電機システムI 2	電気電子システム実験b 3	電子回路工学II 2	電子回路工学I 2	電子回路III 2	電気電子材料 2	電機システムI 2	技術者倫理 2	電子回路工学II 2	電子回路工学I 2	電子回路III 2	電気電子材料 2	電機システムI 2	電磁界理論 2	電子回路工学II 2	電子回路工学I 2	電子回路III 2	電気電子材料 2	電機システムI 2	12単位											
電気電子システム実験a 3	電子回路工学II 2	電子回路工学I 2	電子回路III 2	電子デバイス工学 2	電機システムI 2																																																													
アナログ電子回路 2	デジタル電子回路 2	電子回路工学I 2	電子回路III 2	電気電子材料 2	電機システムI 2																																																													
電子回路工学II 2	電子回路IV 2	電子回路工学I 2	電子回路III 2	電気電子材料 2	電機システムI 2																																																													
電気電子システム実験c 3	電子回路工学II 2	電子回路工学I 2	電子回路III 2	電気電子材料 2	電機システムI 2																																																													
電気電子システム実験b 3	電子回路工学II 2	電子回路工学I 2	電子回路III 2	電気電子材料 2	電機システムI 2																																																													
技術者倫理 2	電子回路工学II 2	電子回路工学I 2	電子回路III 2	電気電子材料 2	電機システムI 2																																																													
電磁界理論 2	電子回路工学II 2	電子回路工学I 2	電子回路III 2	電気電子材料 2	電機システムI 2																																																													

分野	キャリア形成の基礎	工学の基礎	数理学と教育	その他選修科目	分野	電気電子基礎	実験・演習・設計	電気電子回路	材料・物性・デバイス	エネルギー・電気機器	システム科学・通信	年履修上限単位数44単位												
カリキュラムポリシー	<p>工学部カリキュラム・ポリシー</p> <p>工学部ディプロマ・ポリシーに掲げられた能力を備えた人材を育成するために、以下のような方針に基づいて必要な科目を開設し、学習者が主体的に学修できる科目選択を取り入れるとともに、科目間の連携を重視した体系的カリキュラムを編成する。</p> <p>1) 人文科学、自然科学、情報技術、経営、社会的責任および環境共生などに関する科目によって、技術者に求められる幅広い教養を養う。</p> <p>2) 継続した英語教育によって、英語による基礎的なコミュニケーション能力を養う。</p> <p>3) 必修・選択(選択必修を含む)科目によって、専門分野の広範な知識を体系的に身につける。特に重要な科目については、履修機会を確保して保証する。</p> <p>4) 卒業研究(Thesis Based Learning, Thesis Based Learning)を通じて、自分の興味・関心に基づいて、学修する能力、理論的思考力ならびにコミュニケーション能力や協働への意識を養う。</p> <p>5) 技術者倫理に関する科目によって、技術者としての使命感ならびに倫理観を養う。</p> <p>6) 土壌課程の集大成となる卒業研究によって、論文をまとめる理論的思考力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力と、実践力のある専門的技術者として必要な能力を養う。</p> <p>◆注：(3)・(4)・(5)を明確化したものが、各学科のDPとなる</p>				<p>カリキュラムポリシー</p> <p>電気電子システム工学が社会で果たす役割を認識し、サイエンスと関連づけながら電磁気学などの必要な基礎知識を身につける。</p>				<p>学んだ知識を実験・演習を通じて補完し、社会に出たときに活用できる、より実践的な能力を養う。</p>				<p>電気電子システム工学科の基礎として電気電子回路についての基礎知識を身につける。</p>				<p>電気を利用するために必要な材料やデバイスに関する知識を学び、他分野との関連性を意識できる応用力を獲得する。</p>				<p>電気電子分野に関する制御や情報、通信の基本的な原理と応用に関する知識を学び、他分野と連携する応用力を獲得する。</p>			

電気電子システム工学科は、今日の電気・電子工学の進歩に対応でき、明日の電気・電子工学を開拓できる知識と実践力を持つエンジニアを世に送り出すことを目的としています。電気・電子工学は目覚ましい発展を遂げてその領域も多岐にわたり、単なる一分野の専門知識だけでは不十分で、今後は幅広い専門分野の知識がますます重要となります。さらには、人や環境に調和した技術の開発が求められています。

〈求める人物像〉

- 広く電気・電子工学に興味を有する人で、行動力のある実践的なエンジニアをめざす人
- これまでに学んできた知識を進化させて「ものづくり」に応用する意欲のある人
- 人や地球環境に配慮した工学技術に興味を持ち、持続可能な社会の発展に貢献する技術者をめざす向上心のある人

